



# ヤフオク!の確定申告お助けマクロ

使い方ガイド

2021/07/04 初版発行

2022/01/02 Selenium Basic への変更を反映

2022/02/24 売上金管理の追加を反映

2023/02/03 データ対象を AucLifeV4 に変更した。

2024/01/31 一部加筆修正

## 目次

本マクロの目的 .....	2
注意事項 .....	2
Selenium Basic と WebDriver のインストール .....	2
本マクロのインストール .....	5
実行前の準備 .....	6
ライセンスの登録方法 .....	7
旧版をお使いの方へ .....	8
使用料と運送費の一覧作成マクロ .....	9
商品名と取引時の送料挿入マクロ .....	10
削除する際の注意点 .....	10
列の追加/削除/入れ替え .....	10
Web データとシート指定との関係 .....	11
Web データ変更時の対応 .....	11
アンインストール .....	12

## 本マクロの目的

確定申告には、1年分のデータが必要だが、ヤフオク!のシステムご利用明細や売上金管理は、1ヶ月単位でのダウンロードしかできない。また、これを一覧にするには、かなりの手間である。本マクロは、ヤフオク!のシステムご利用明細や売上金管理のサイトを巡回し、指定した月以降の情報を一覧にしてくれる。更に、AuLifeV4の取引完了データから、商品名と取引時の送料を読み込み、一覧に加える。これにより、取引時の送料と発送時の送料の違いを補正し、正確な確定申告が実現できる。

## 注意事項

- 評価版では、1ヶ月分しか処理できない。
- 予め Selenium Basic と WebDriver をインストールする必要がある。
- オートメーション処理では、常にログアウト状態になる。この為、毎回ヤフオク!へのログインが必要。
- 出力開始年月は取引開始年月で、ここで集計するのは、入金完了年月。前月から開始し、フィルターで選択すること。
- 「処理シート名」シートは、自動生成しない。「template」をコピーして使うこと。
- AuLifeV4 は有料(¥555/月)。送金には、PayPal に登録(無料)が必要。  
AuLifeV4(<http://www.yu-life.com/auclife/index.html>)

## Selenium Basic と WebDriver のインストール

本マクロでは、Selenium Basic と WebDriver を利用しているため、予めインストールが必要である。

### 1. Selenium Basic のインストール

Selenium Basic の置き場所 : <http://florentbr.github.io/SeleniumBasic/>

The screenshot shows the SeleniumBasic GitHub repository page. On the left, the repository description is visible, with a yellow box containing the text "(中略)". Below the description, the "Download" section has a link to the "Release page", which is annotated with a yellow box labeled "①Release page". On the right, the "SeleniumBasic v2.0.9.0" release page is shown, indicating it is the "Latest release". The release was made by "florentbr" on "3 Mar 2016". Under the "Assets" section, there are three items: "SeleniumBasic-2.0.9.0.exe" (22.6 MB), "Source code (zip)", and "Source code (tar.gz)". A yellow box labeled "②SeleniumBasic-2.0.9.0.exe" points to the first asset.

## 2. SeleniumBasic-2.0.9.0.exe の実行



## 3. WebDriver のインストール

WebDriver は Selenium Basic と Viewer との橋渡しをするもので、Viewer のバージョン別に用意されている。この為、Viewer がアップデートされる度に、差し替える必要がある。

- Chrome の場合

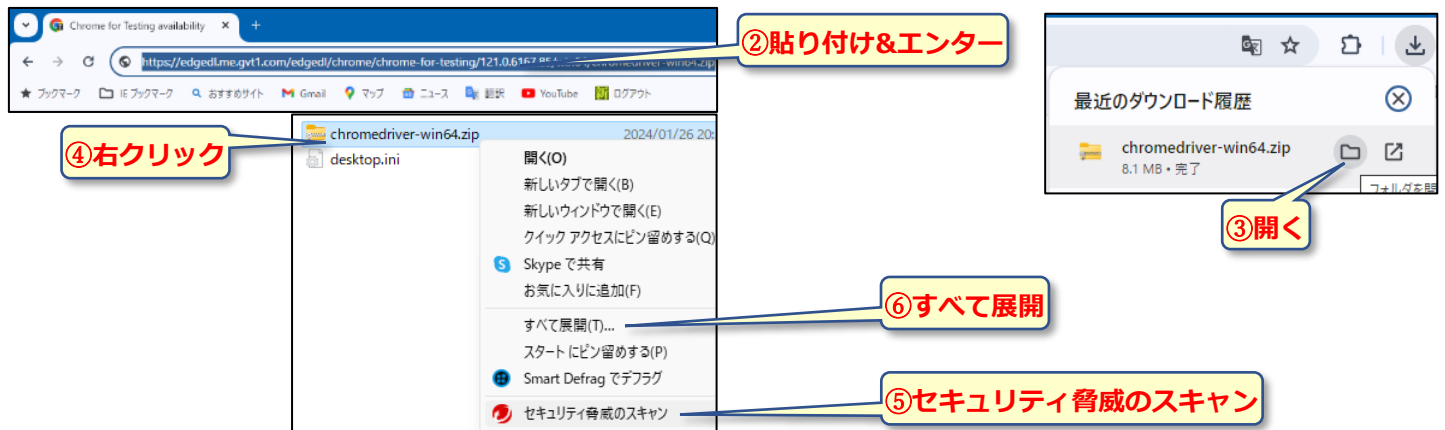
### ①WebDriver のダウンロード

chromedriver.exe の置き場所 : <https://googlechromelabs.github.io/chrome-for-testing/#stable>

Stable

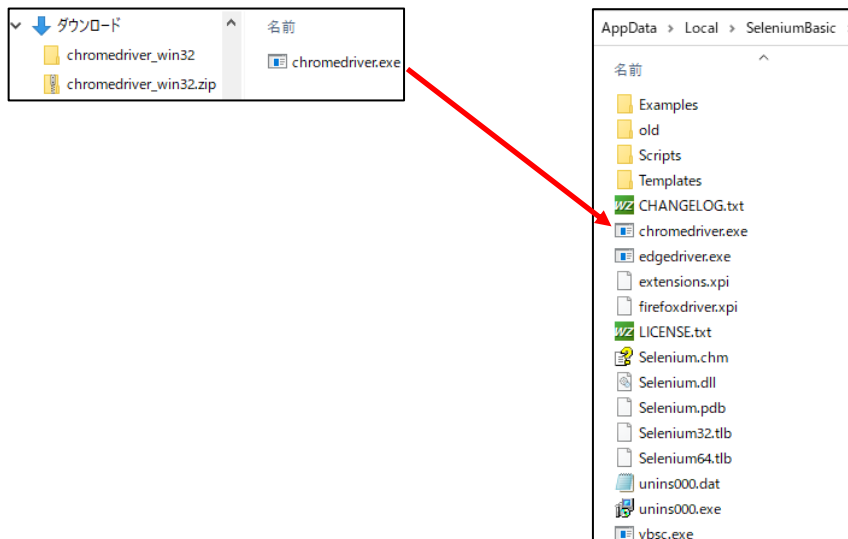
Version: 121.0.8167.85 (r1233107)

Binary	Platform	URL
chrome	linux64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/linux64/chrome-linux64.zip
chrome	mac-arm64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/mac-arm64/chrome-mac-arm64.zip
chrome	mac-x64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/mac-x64/chrome-mac-x64.zip
chrome	win32	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/win32/chrome-win32.zip
chrome	win64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/win64/chrome-win64.zip
chromedriver	linux64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/linux64/chromedriver-linux64.zip
chromedriver	mac-arm64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/mac-arm64/chromedriver-mac-arm64.zip
chromedriver	mac-x64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/mac-x64/chromedriver-mac-x64.zip
chromedriver	win32	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/win32/chromedriver-win32.zip
chromedriver	win64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.8167.85/win64/chromedriver-win64.zip



## ②WebDriver の差し替え

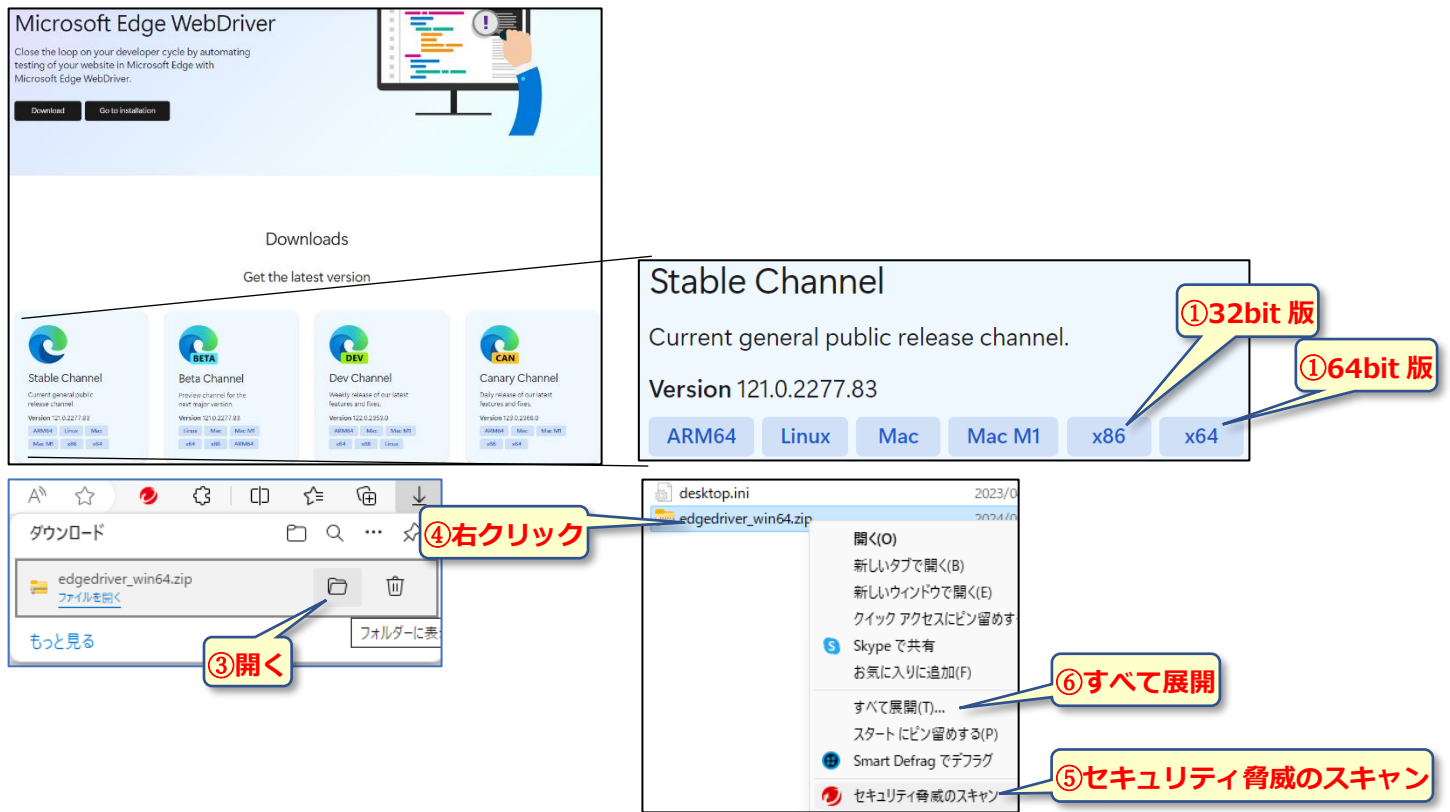
%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の chromedriver.exe と差し替える。



## ● Edge の場合

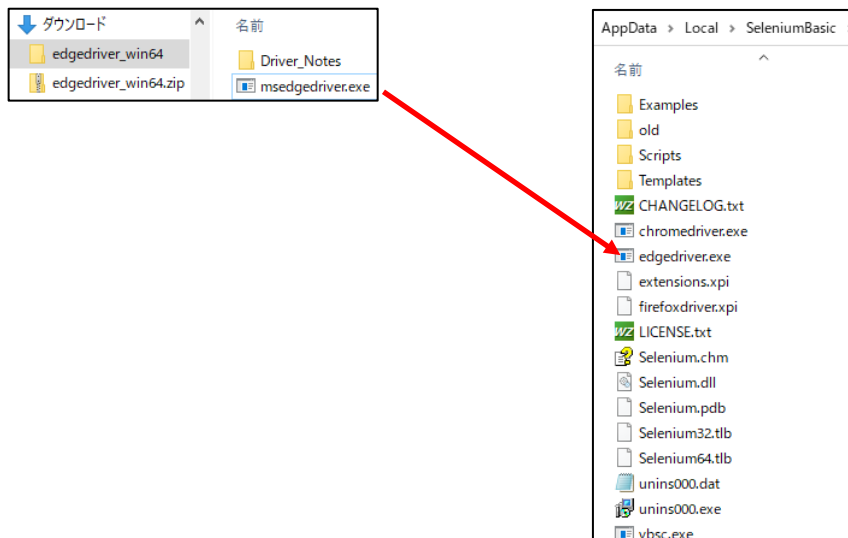
### ①WebDriver のダウンロード

edgedriver.exe の置き場所 : <https://developer.microsoft.com/en-us/microsoft-edge/tools/webdriver/>



## ②WebDriver の差し替え

**msedgedriver.exe を edgedriver.exe に名前を変え、%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の edgedriver.exe と差し替える。**

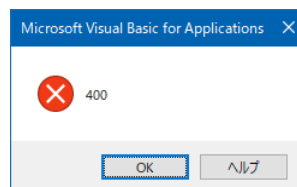
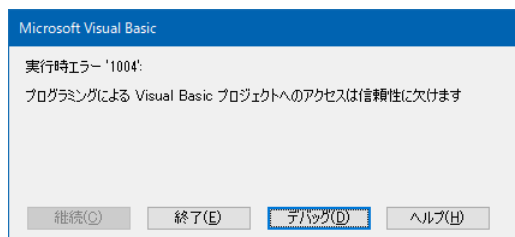


## 本マクロのインストール

本 Excel ファイルのみ。

## 実行前の準備

1. VBAProject へのアクセスの許可が必要である。これを行なわないと、以下のどちらかのエラーが出る。



以下の手順で許可すること。

①バーナーのv

②その他のコマンド

③リボンのユーザー設定

④開発

⑤OK

⑥開発

⑦マクロのセキュリティ

⑧マクロの設定

⑨VBAプロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する

⑩OK

## 2. .NetFramework3.5 のインストール

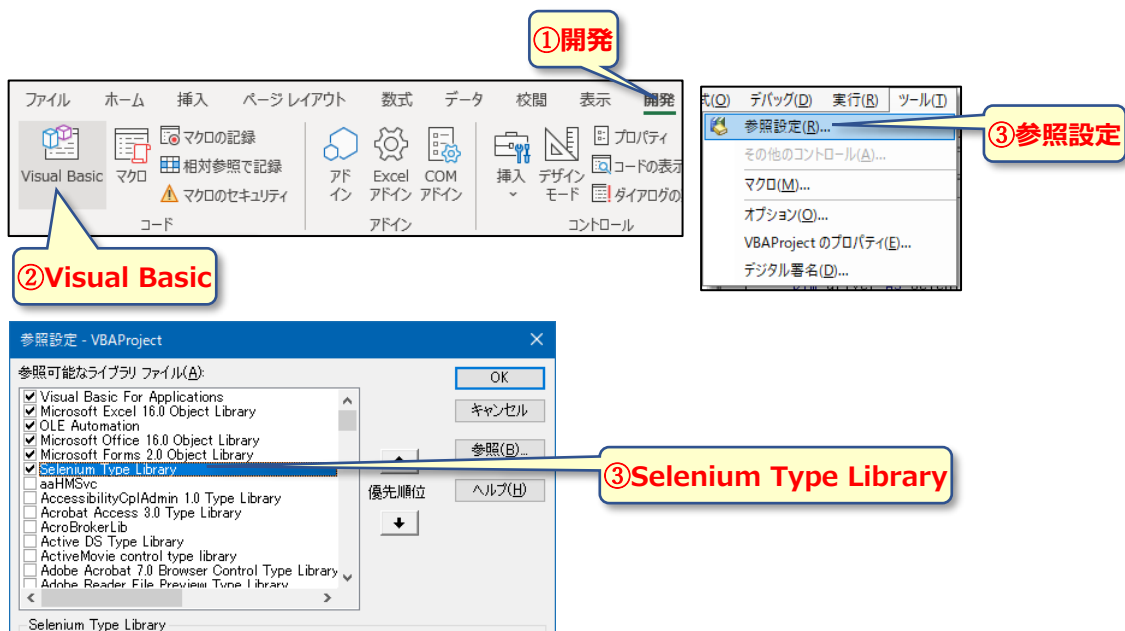
これが最新でない場合、エラーになるとのこと。

%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic\Scripts\StartEdge.vbs

を動かせば良いとのこと。

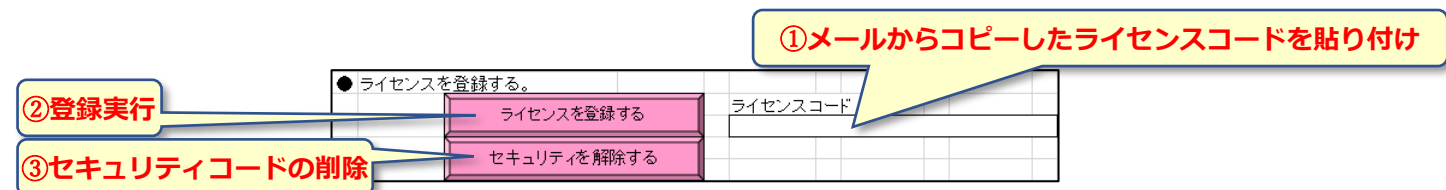
## 3. 参照設定の追加

Selenium Type Library が外れている場合が考えられる。確認すること。



## ライセンスの登録方法

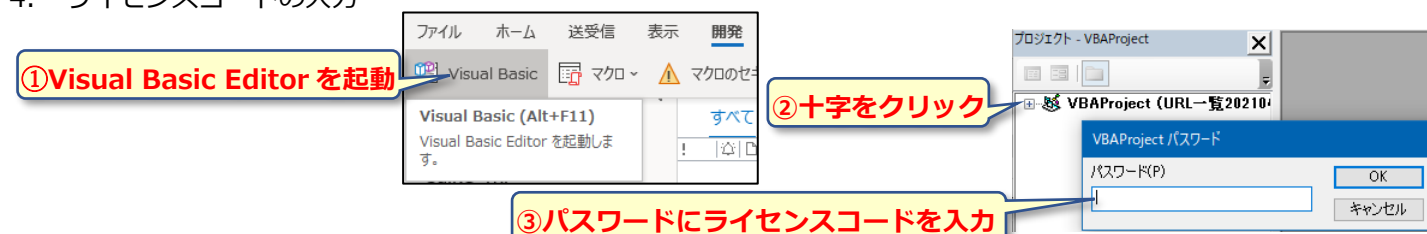
ライセンスを登録し、VBA コードを開放するには、以下の手順が必要である。



実行後、「NumLock」が外れることがある。注意すること。

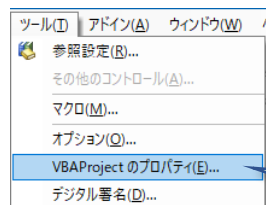
自動実行が上手く動かない場合、以下の手順で手動解除する。

## 4. ライセンスコードの入力



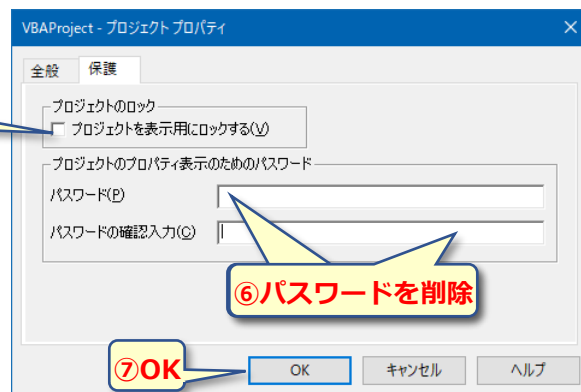


## 5. ロックの解除



④ VBAProject のプロパティ

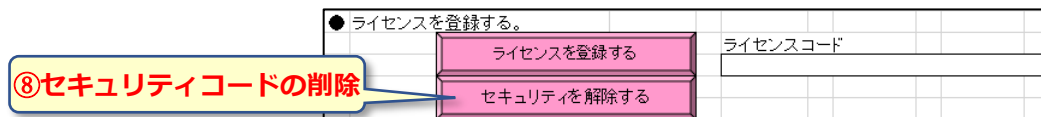
⑤ プロジェクトのロックを外す



⑥ パスワードを削除

⑦ OK

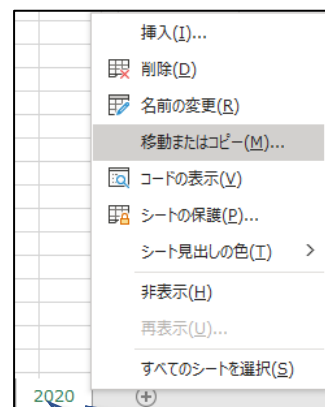
## 6. セキュリティコードの削除



⑧ セキュリティコードの削除

## 旧版をお使いの方へ

旧版のデータは、シートのコピー機能を使えば、生かすことができる。

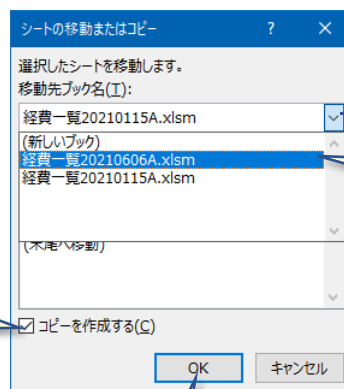


③ 移動またはコピー

② シートのタブで右クリック

① シートのタブをセレクト&Ctrl+右クリックで追加

④ コピーを作成する



⑤ V をクリック

⑥ コピー先を選択

⑦ OK

## 使用料と運送費の一覧作成マクロ

ヤフオク!のシステムご利用明細からシステム使用料と運送費を、ヤフオク!の売上金管理から取扱日と金額を読み込み、一覧にするマクロ。

● 使用料と運送費の一覧を作成する。

⑤ 実行ボタン

① Viewer の選択

② LoginID

③ 出力開始年月

④ 出力先の指定

- ヤフオク!のシステムご利用明細では、利用年月を指定し、その月の利用明細を表示する。本マクロでは、指定年月以降を自動で指定し、表示し、利用明細情報を取得し、一覧にしている。
- ヤフオク!のシステムご利用明細は取引開始年月で作成されている。一方ここで集計したいのは、入金完了年月である。従って、「出力開始年月」には、前月を指定する。
- 「出力開始年月」の指定方法は、yyyymm である。例えば、2021 年 1 月の場合は、202101。
- 「処理シート名」シートは、自動生成しない。「template」をコピーして使うこと。
- URL は上がシステムご利用明細、下が売上金管理である。URL の前にあるチェックボックスは、実行の可否を指定する物である。
- 仮送料/実送料は、売上金管理で内訳に送料がないもの(レターパック等)があるため、一連の処理後、実送料欄に、仮送料を引用する式を追加するためのものである。

本マクロでは、2 系統で集計を行なっている。

商品名	落札総	利用	取扱日	決済金	システム	送料
中古品■大谷博	100	8	2022/01/13	298	-8	-198
中古品■サンワタ	100	8	2022/01/05	1,810	-8	-1,710
新品未使用■Silv	2,000	176	2022/01/04	3,290	-176	-1,290
中古品■Wii 集英	100	8	2021/12/30	620	-8	-520
新品未開封■花	900	79	2022/01/23	1,710	-79	-810
中古品■HQコミ	100	8				0
中古品■大谷博	100	8				0
中古品■ハーモ	100	8	2022/02/17	498	-24	-198
中古品■PCBE-5	600	52	2022/02/17	780	-52	-180
中古品■東芝ライ	100	8	2022/02/17	450	-8	-350
新品未使用■自	210	18	2022/02/09	720	-18	-510
新品■角川書店	100	8	2022/02/02	310	-8	-210
中古品■Semiro	1,000	88	2022/02/02	1,210	-88	-210
中古品■スマート	1,000	88	2022/02/01	1,198	-88	-198
	6,510	565		12,894	-565	-6,384
Yahoo!プレミアム	508	6,096				
AucLifeV2	555	6,660				
					-6,811	
					-6,811	

確定申告は、入金日で集計する必要があるが、左のご利用明細からの集計では、入金日が判らず、右の売上金管理からの集計では、同梱が判らない。そこで、取扱日(R 列)で、日付と空白でフィルターをかけ、同梱を含めて該当日(V 列)にマークを入れ、改めて該当日(V 列)でフィルターをかけている。これにより、両者の総計が一致するはずである。

## 商品名と取引時の送料挿入マクロ

AucLifeV4 の取引完了データから、商品名と取引時の送料を読み込み、一覧に加えるマクロ。以下の手順をとる。

1. AucLifeV4 の取引完了データを作成する。

①取引完了タブ

②CSV 出力

③出力先

完了通知

E:\utils\AucLifeV4\END-outDATA.csv  
ファイルを作成しました

OK

2. 取引完了データを反映させる。

● AucLifeV4の取引完了データを反映させる。

①取引完了データの選択

②反映の実行

データ-pathを指定する

取引完了データを開く

データを反映させる

作業用フォルダー	取引完了データ
AuctionID	受取連絡
C	Y
商品名	送料
E	L
配送方法	Z
処理シート名	2022
オークションID	商品名
A	B
終了日時	送料
M	J
宅配業者	送料
N	O
差分	P

## 削除する際の注意点

「処理シート名」で指定したシートの行を削除する際は、注意が必要である。作成した一覧の最後には、SUBTOTAL の式が仕込んである。SUBTOTAL の対象範囲内であれば、追加/削除が可能である。SUBTOTAL の1つ上の行を削除してしまうと、この性質が崩れてしまい、対象範囲から外れてしまうため、計算値が狂ってしまう。

=SUBTOTAL(109,D1:D59)

この行を削除しないこと

## 列の追加/削除/入れ替え

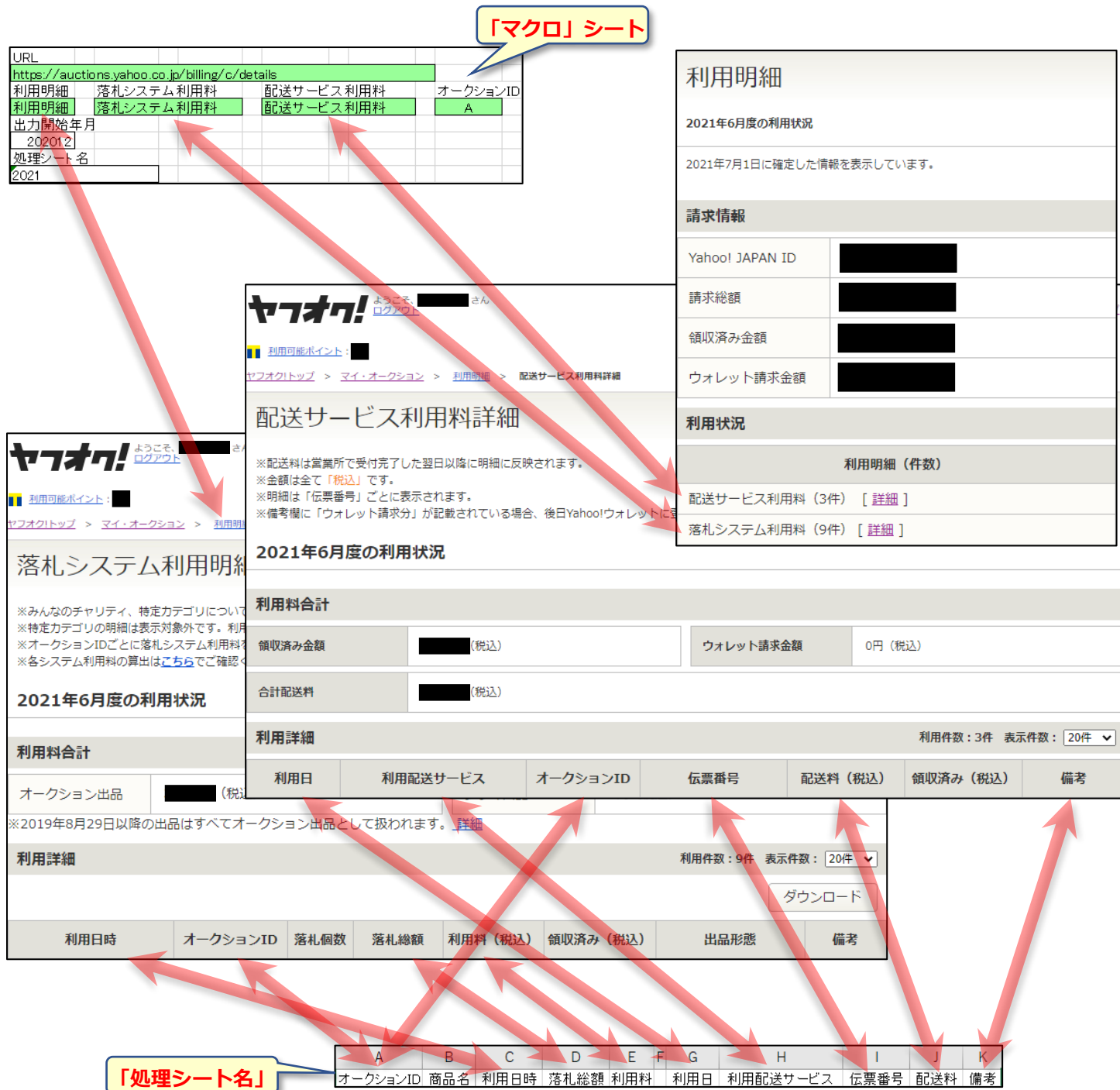
「処理シート名」で指定したシートの列は、落札システム利用明細、配送サービス利用料詳細、AucLifeV2 の取引完了データ、売上金取扱日と金額を、空白列で分けている。この2つの列を削除したり、この左右を入れ替えた場合、動作がおかしくなる。また、取扱日(R 列)以降は固定である。それ以外は、変更可能である。

空白列を削除しないこと

空白列の左右列は入れ替えないこと

## Web データとシート指定との関係

ヤフオク!は変更が激しいので、タイトルは以下のように書き出している。



## Web データ変更時の対応

Web 上の文言が替わっただけだったら、以下の手順により対応可能である。

1. 「出力開始年月」を指定して実行。
2. Excel 側の文言を変更(Web 上の文言をコピー)
3. 再実行

## アンインストール

本マクロの削除は、本 Excel ファイルの削除のみ。Selenium Basic と WebDriver の削除は、%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の unins000.exe を実行する。



①%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic と打つ

①unins000.exe を実行

